

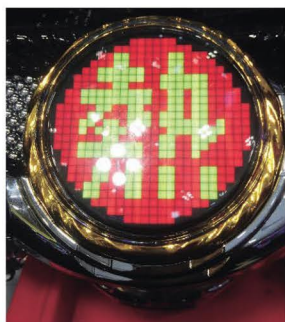
信頼度

今回の言葉物語は「信頼度」です。パチンコ・パチスロの演出と密接なかわりを持つ信頼度。その傾向について追いかけてみたいと思います。

信頼度とはその名のとおり「当該変動において、大当たり等当選を示唆する演出の、確度の高低」です。同義語では「期待度」等もそうでしょう。パチンコで信頼度というものが意識され始めたのは約25年前の保留連ちゃん機と呼ばれる時代から、パチスロではサブ液晶やドットマトリクスを搭載し始めた4号機時代からでしょう。

激アツでも25%はダメ

演出の傾向はハードの進化と比例すると言っているでしょう。液晶の大型化や演出用基板の拡充に伴い演出の幅が大きくなり、その機能



CR JAWSの「熱」ボタン。見た目で十分アツそうに見えるし、実際信頼度もあるのだが、当該変動の全体を見て判断するのが昨今のパチンコにおけるトレンドである。

Jaws is a trademark and copyright of Universal Studios. Licensed by Universal Studios Licensing LLC. All rights reserved., ©HEIWA

を活かすべく様々な演出が盛り込まれました。そして現在、パチンコでは各演出の信頼度が下がって見えて、よりヘビー傾向にあります。その仕組みを許さない風潮にあるパチスロは、演出の信頼度を高める傾向にある「S高P低型」と言えます。

しかし、信頼度の数値を見る限りでは、激アツ演出と呼ばれるものの信頼度が大きく下がっているとは言えません。つまりこれは演出の信頼度が下がったのではなく、演出フロアの多さもたらす「錯覚」なのです。仮にですが、一定の条件をクリアしたフローチヤートが信頼度50%激アツ演出の振り分けを2つ経由するとしません（しかし大当たりの乱数は引いてい

ないとします）。条件をクリアしてしまつた場合に激アツ演出が発生しない場合は、フロア1つの場合は50%、フロア2つを経由する場合は各25%。すなわち、

- ① 両方とも発生せず
- ② フロア1のみ激アツ演出発生
- ③ フロア2のみ激アツ演出発生
- ④ 不幸にも両方で激アツ演出発生

となり、フロア2つ経由の場合での激アツ演出発生頻度は75%、さらに2つの激アツ演出が発生してしまう可能性も25%あります。これが実際の局面で起こつたら相当ショックでしょうが、実際に25%で起きうる現象なのです。

複雑なフロアで客離れ？

現在、予告は保留の先読みに始まり最終カットインに至るまで、10では数え切れないほどのフロアを経由し、その各所に激アツや確定演出が盛り込まれています。こんなのハズれるのかとよく聞きますが、数値は嘘をつきません。ただ、その振り分け箇所が今のパチンコはあまりにも多いため、このよう不幸が起きてしまうのです。そしてこのフロアバランスが著しく悪いと、演出面の不満からユーザーが離反していくことも大いにあるのです。

特に最近

パチンコを打っていて、「これで当たるか!？」というビツクリより圧倒的に「これでハズれるのか!？」というビツクリの頻度

が高いです。それでも私は業界のトレンドや、攻略誌で得た情報を熟知しているの、全体のどこかにあった演出の弱い部分、いわゆる「ほころび」を見つけて自分を無理やり納得させることは出来ます。しかしそうでない方はどうでしょう。きっとその機種を打ち続けることは難しいのではないのでしょうか。複雑なフロア故に起きうる不幸は恐らくメーカーも承知しているために、信頼度を修正してきているのでしょうか。そして最後に、エンドユーザーにどのような味付けを理解してもらおうのか。現状のままでは大変難しい問題の一つのように感じています。（大和田敏男）

「下がっている」は錯覚だが



CR海物語3Rのmy海力カスタム。魚群の信頼度を任意に設定出来る。数値の透明性もさることながら、信頼度の数値まで設定出来るのは珍しい。©SANYO BUSSAN